

遠野猫譚

とおのねこばなし

第46回遠野物語ファンタジー「遠野猫譚」は2月20・21の両日、市民センター大ホールで上演されました。新型コロナ対策でさまざまな制限がかけられる中で、市民170人が心を一つに感動の舞台を作り上げました。



上_来場者全員に検温を実施
中_座席の間隔を確保。拍手で舞台を盛り上げる姿が目立った
下_切り込みを入れたマスクを付けての演奏

第

46回遠野物語ファンタジー「遠野猫譚」は2月20・21日、市民センター大ホールで上演されました。

3回の公演で延べ645人が来場したほか、第2回公演は初めての試みとして遠野テレビで生放送。多くの人々が市民手作りの舞台を楽しみました。

今作は、『聴耳草紙』の94番「虎猫和尚」をモチーフに展開される喜劇。縄張り争いをする猫・トラとブチや猫の言葉を理解できる貧乏寺の良寛和尚と欲深な黄金和尚。大長者勘衛門の娘・サチに思いを寄せる幼なじみの友吉など登場人物の思惑が入り乱れ、勘違いにつぐ勘違いによって巻き起こる騒動が面白おかしく展開されました。原案は土淵町出身の似田貝郁美さん(東京都)、脚本は赤坂康紀さん(大工町)が担当。総勢170人のスタッフ・キャストによって2幕7場の舞台が作り上げられました。

新型コロナ対策で参加者や練習時間入場者数などさまざまな制限が課されるなかで新しい形を模索した遠野物語ファンタジー。これからも多くの人に感動を与え、遠野に春を呼ぶ風物詩として、新たな挑戦を続けていくことでしょう。



10



8



9

8_友吉との結婚を勘衛門に反対され泣き出すサチ 9_良寛和尚とトラは、サチが死んだふりをして葬式で未練を訴え、結婚を許してもらえばいいと相談し合う。とん人は、医者にはばれず死んだふりができる薬を持っていた 10_サチの葬式。念でサチを助けようとするトラと良寛和尚の邪魔をするブチと黄金和尚。勘衛門屋敷の人たちとサチは成り行きを見守る 11_生き返ったサチの前に立派な格好で現れた友吉。「大出世の妙薬」で勘衛門以上の大富豪になっていた 12_サチと友吉は無事、勘衛門に結婚を許された



11



12

Interview

出演者インタビュー



サチ役
八重樫 満里奈さん
(花巻市・遠野西中勤務)



演出・黄金和尚役
新田 光志さん
(東館町)



黒猫役

みんなで創り上げる劇

今回が初出演。周りの人に支えてもらって、楽しみながら取り組むことができました。練習中に参加者同士で意見を出し合って劇を磨き上げていくことや、本番でお客さんが公演ごとにいろいろな反応をしてくださることが面白かったです。次回も何かの形で携わりたいと思います。

経験生きたファンタジー

お客さんがいる中で本番を迎えられてホッとしました。感染対策でいつもより小規模な舞台になりましたが、これまでみんなで培ってきた経験が生かされて良いものができたと思います。来年は、例年通り開催できると信じ、今回の経験も取り入れて、さらに良い舞台を作り上げたいです。

遠野一輪車クラブ

阿部 心々菜さん(遠野小3年)
渡邊 陽葵さん(遠野小4年)

初めての舞台楽しかった

初めてのファンタジーだったけど緊張せずできました。みんなと一緒に演技するのが楽しかったです。次は一輪車に乗って出てみたいです。



5



4



1

1_黒猫に扮して舞台を彩った遠野一輪車クラブのメンバー 2_ケンカばかりの化け猫・トラとブチをなだめる良寛和尚 3_盛岡に奉公に出ていた友吉。大長者勘衛門の愛娘で幼なじみのサチと久々の再会をとげる 4_あやしい薬売り・とん人が勘衛門の妻・サキに「大出世の妙薬」を売り込むも相手にされない 5_勘衛門は自分の屋敷の運気を上げるために黄金和尚を迎えた。高野山で修業をしたと言うが… 6_お嫁に来てくれるように頼む友吉と応えるサチ。告白を見守っていた良寛和尚たちも祝福する 7_個性豊かなキャストが観客の笑いを誘った



2



7



6



3